

第 84 回 沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 3 月 15 日(月) 10：30～11：20

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

< 報告事項 >

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ ワクチン接種に関する状況、変異株の確認、介護施設等への PCR 検査実施状況等について、各本部員から報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、普天間 環境企画統括監、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、幸地 農政企画統括監、上原 土木建築部長、松永 産業振興統括監、下地 観光政策統括監、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、真栄城 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、国吉 八重山保健所長（TV 会議参加：宮里 宮古保健所長、金城 宮古事務所長）

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から前日時点の新規陽性者及び療養者の状況について報告【資料 1】
 - ✓ 3/14 の新規発生は 23 名、合計 8496 名、入院中 146 名、うち重症 1 名、うち中等症 48 名、入院調整中 21 名、宿泊施設療養中 88 名、自宅療養中 45 名で療養中患者計 300 名となっている。
 - ✓ 昨日の陽性者一覧の特徴として、10 歳未満 3 名は家庭内感染、県外からきた 4 名と一昨日の東京から来た方は同一の合宿での来沖、また 8 例目の介護 PCR での陽性確定例がある。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 県立病院全体で本日 11 名入院しており、3/8 から 5 名減少している。確保病床の

26.5%を占めている。

- ✓ 北部病院 1 名入院、中部病院 2 名入院、南部医療センター入院患者は 3 名だが高齢者 2 名と人工呼吸管理の 40 代の方が重症 1 名、宮古病院 0 名、八重山病院 3 名、精和病院 2 名となっている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、米軍基地内で確認された新規感染者数について報告【資料 2】
 - ✓ 3 月 13 日の発生は 0 で、合計 963 名既に 957 名隔離解除となっている。

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-9】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告
 - ✓ 療養者数と新規感染者数（1 週間合計）がじわじわと増加している。①療養者数 300 人と④新規感染者数 175 名は、先週から増加している。
 - ✓ 非コロナの病床利用率は、昨日時点の総合計 89.8%、平均的に利用率の高い中部地区においても 100%を超えたのはこの 2 週間のうち 1 日だけであり、1 月 2 月と比較すると少し空きが出てきていると思う。
 - ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人あたり新規感染者数を全国と比べると、沖縄県は 11.65 人で全国 4 位、更に本日時点は 12 人で全国 3 位となり全国でも高い状態である。
 - ✓ 直近 1 週間の県内の保健所管内の地域別の感染状況を見ると、中部地区が特に増加、これに那覇・南部地区を加えた 3 地区でほとんどを占めている。逆に北部・宮古・八重山は落ち着いている。
 - ✓ 警戒レベル指標の 1 週間毎の状況について、病床占有率は横ばいの状況となっている。
 - ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合として最近では 20%前後で、高齢者でなく若者がメインの感染となっている。
 - ✓ 中等症以上の入院者数について、この 3 週間下げ止まっており約 60 名程度となっている。

- ✓ インフルエンザと同時に流行すると非常に厳しいと考えてモニターしていたが、今シーズンは発生がほぼない状態である。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、各地で運用している宿泊療養施設の状況について報告
 - ✓ 現在稼働しているのは、那覇地区の東横インだけで 89 名入所しており、じわじわと増えてきている状態である。

(5) 沖縄県人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、各地の人口変動状況について報告
 - ✓ 県の緊急事態宣言終了後の3月6・7日の状況として、繁華街エリアで人出が先週から増えている。商業エリア・空港エリアはあまり変動がない。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告
 - ✓ 130 件目として、職場従業員で 10 名の発生。131 例目で社会福祉施設のデイサービスで発生しそれに関連して有料老人ホームでの感染を確認している。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 総括情報部から、昨日時点の宮古・八重山地域の状況を報告
 - ✓ 宮古地域は、直近の新規陽性者は0名で、3/12 から療養者も0名となった。八重山は3/11、12 と新規陽性者1名ずつ発生している。
 - ✓ 八重山保健所から補足説明、昨日新規1名が確認され本日報告予定。直近の3例共に石垣島外からの移入例と考えている、現在積極的疫学調査中である。

(1～7 までの報告事項に関する主な発言)

- ✓ 検査に市町村PCRとあるがどのようなスキームなのか。
 - 厚生労働省老健局の事業で、市町村が独自に 65 歳以上の高齢者向けにPCR検査を1回行っている、体制が整った市町村から順次実施している。

(8) 沖縄県緊急事態宣言終了後の状況について【資料7-1 から 7-3】

➤ 総括情報部から、飲食関係の陽性者や移入例について報告

- ✓ 推定感染源が飲食関係の陽性者について、緊急事態宣言中は週 20 名程度に抑えられていたが、先週 3/7-3/13 は 33 名と増加している。特徴として、沖縄市・うるま市等の中部地区において会社での歓送迎会での感染を確認している。会社でパーティーを行うときに関連会社を呼んで、規模が大きくなっている。このあたりをうまく啓発していきたい。
- ✓ 緊急事態宣言下平均と比べて繁華街エリア・商業エリアともに人出が増加している。
- ✓ 移入例については、先週は 2 名だが、先ほど報告したとおり学生の合宿での移入例を確認している。また、12 月からの県外来訪者 52 名中 13 名は県外に住んでいるが県内に住所があることを確認している。

(9) ワクチン接種について【資料 8】

➤ 総括情報部からワクチン接種に関して報告

- ✓ 医療従事者向けのワクチン第 2 弾として 6 箱 (5,850 人分) が、3/22・3/29 の週に発送されることが決定。接種先について、精神科医療機関・療養型医療機関・宿泊療養施設等から選定する予定。
- ✓ 住民向けについて、4/5 の週に 2 箱発送されるのでうるま市と宮古島市に配分。配分理由は、4/12 から接種可能な市町村であることと 1 カ所は離島市町村ということで選んだ。
- ✓ 本日 3/15 から副反応等の専門相談ができる県のワクチンコールセンターを設置した。

(10) 変異株の確認について【資料 9】

➤ 総括情報部から変異株監視体制及び患者発生状況を報告

- ✓ 変異株には、N501Y 変異があると感染・伝播生の増加が懸念される変異として英国型、南アフリカ型、ブラジル型がある。

- ✓ 2/8 から県衛生環境研究所でN501 Y 検査を開始した。3/9 に衛生環境研究所でN501 Y 変異を 2 例確認、3/11 に国立感染研によりうち 1 例が英国型と判明し公表した。今後は、衛生環境研究所で判明次第公表予定である。

(11) 介護施設等へのPCR検査実施状況及びNAPPの運用状況等について【資料 10、10-1】

- 総括情報部から介護施設等へのPCR検査実施状況を報告
 - ✓ 2/11 から 2 週間に 1 度の頻度で検査を 3 回実施予定、現時点で 2 週目が終わったところであり、4 万 5 千件実施し 8 件の陽性で陽性率は想定より低めである。現在、陽性が確認された施設ではクラスターにはなっていない。
- 文化観光スポーツ部からNAPP等の運用状況を報告
 - ✓ NAPPでは2/3 から 3/14 まで約 3,200 件検査を実施して 4 件の陽性だが県内在住の 1 件が偽陽性との連絡があったので 3 件となる。先週の検査数は 582 件で先週から 142 件増加している。
 - ✓ TACOでは、先週からサーモグラフィー通過者が 48,625 人増加している。 1 件発熱者を覚知したが、同意が得られずもんしん・検査はできなかった。最近、駆け込みの修学旅行の問い合わせが増加している。
 - ✓ RICCAについては、先週から約 5 千人増加、引き続き広報を行う。
 - ✓ 企画部の安価なPCR検査について 3/11 までに 1371 人検査して 8 人陽性確認

(8～11の報告事項に関する主な発言)

- ✓ いよいよ県民向けワクチン接種が 4 月から宮古島市・うるま市で始まるとのことだがその状況はどうか。また、変異株について県の発表前にマスコミが公表し委員会でも情報管理に関する懸念が示されていたが対策はどうなっているか。
- 4/5 配分のワクチンは、国から 4/12 から接種して欲しいと求められていたので、その条件で市町村と調整し、既にシミュレーションが出来ていたうるま市と離島地域で可能な宮古島市とした。両市共に施設内での集団接種から始める予定とのことであ

る。

また、県の公表前に変異株については琉球大学の研究事業で変異株の検査を行っており、その情報が一部マスコミに流れてしまった。現在琉球大学と調整しておりN501Y、E484Kともに見つかった場合は県で一元的に公表するという方向で調整している。

✓ ワクチン専門相談センターはどこが実施するのか。

→ ワクチンに関する相談窓口は3つ設置することになる。①市町村ではワクチンの接種順番や接種会場等の問い合わせ対応、②県のワクチン相談センターでは、副反応が出た場合の対応等の専門的な問い合わせに対応する。コールセンターは、総括情報部が外部委託をする。専門的な相談先として年度内は薬剤師会、4月からは看護協会を加える予定。③厚生労働省のコールセンターではコロナワクチン施策のあり方等に関する問い合わせを対応する。

✓ 外国人技能実習生へのPCRと変異株検査はどうなっているか。

→技能実習生向けでは無いが、内閣官房のモニタリング調査事業の対象の外国人コミュニティとして日本語学校で無料のPCR検査を出来るよう調整中。陽性が確認された場合は、ピックアップして衛生環境研究所で変異株の検査に回すことになる。

✓ フィリピン型の報道もあったので、東南アジアから沖縄に来ている方についてはしっかりと対応するように。

3 その他報告

- 来週 3/22 の定例本部会議は常任委員会对应のため中止、国の緊急事態宣言が3/21に終了との話があるので対応するため3/19に臨時の本部会議を開催する予定。

4 閉会